



第2戦

FUJI GT 3Hours RACE

富士スピードウェイ

予選 5月3日(土)

天候: 晴れ コース状況: ドライ

SUPER GTシリーズの第2戦は今年もゴールデンウィークの富士スピードウェイにおいて開催。搬入日の2日は大雨に見舞われたが、3日は早朝から雲ひとつない天候となり富士山も美しい姿を見せた。また関東地区の開幕戦とあって朝早くから多くのファンが詰めかけ、駐車場もぎっしりと埋まった。今回は3時間レースと長いレースとなるため、チームはCドライバーにト部和久を登録して臨むこととした。

予選：6位



SUPER GTシリーズの第2戦は今年もゴールデンウィークの富士スピードウェイにおいて開催。搬入日の2日は大雨に見舞われたが、3日は早朝から雲ひとつない天候となり富士山も美しい姿を見せた。また関東地区の開幕戦とあって朝早くから多くのファンが詰めかけ、駐車場もぎっしりと埋まった。今回は3時間レースと長いレースとなるため、チームはCドライバーにト部和久を登録して臨むこととした。

朝9時に始まった公式練習は、快晴で気温19℃、路面温度28℃という爽やかな天候で始まった。まずは堤がコースインし車両の状態を確認。セッティングを変更しながら6周目には1分36秒806のベストタイムをマークした。堤は16周してピットインし平良に交代。28周してロングランテストも行った。タイムはトップとは0秒462差の10位とまずまずの位置につけた。なおこのセッションでト部の走行はなかった。

午後の予選Q1は開幕戦の結果によりB組に区分された。出走15台のうち上位9台に入ればQ2への進出が決まる。14時48分、気温20℃、路面温度32℃というコンディションでまずは平良がコースインしタイヤを暖めた。平良は10分間のセッションも残り1分を切った計測4周目に、1分36秒241で4位となりQ2進出を確実にした。結果的には平良のタイムを上回る車両があり5位となったが、問題なくQ2へ進出を決めた。

上位18台のグリッドを決めるQ2は15時23分に始まった。堤は残り2分を切った計測4周目に1分35秒795で2位となったが、その後4台の車両が堤のタイムを上回り10分間のセッションは終了。ポールシッターとは0秒975差の6位となり、明日の決勝レースは3列目からのスタートが確定した。

明日は14時10分に3時間の決勝レースがスタート予定。天気は晴れで本日より暑くなる予報だが、その暑さに負けない熱い走りレースで表彰台を狙う。

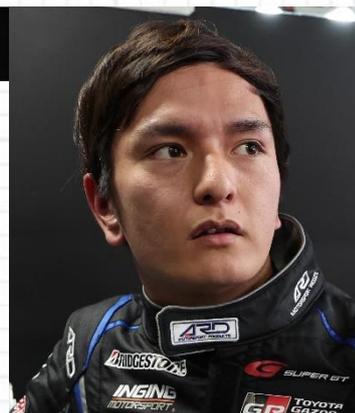


ドライバー 堤 優威

「今年はほぼノーウェイトの状態での順位なので少し残念という感じです。これまでのクルマの良いイメージを知っている分、得意のセクター2、セクター3のアドバンテージが全然なくなって、戦い方というか走らせ方が難しくなりました。開幕からの流れを見てやるべきことをやって来ました。その中では良い流れではありますが、結果を見るとちょっと残念です。明日は長いレースですし上位に頑張っておらいついて行こうと思います」

ドライバー 平良 響

「(予選結果に)まずはひと安心です。岡山ではQ1で落ちてしまい自信もなくなりかけていたのですが、今回はちゃんとタイムも出して(Q1を)通ることができました。そしてクルマの課題についてエンジニアともコミュニケーションが取れて優威さんにバトンを渡すことができましたし、優威さんもタイムが出せました。とは言ってもトップとのタイム差は大きいのですが、朝にロング(ラン)をしたので自信を持って決勝に臨みます」



監督 加藤 寛規

「今日はプリチストンタイヤユーザーの中ではトップでした。しかし一発のタイムを出すまでにはエンジニアが頑張ってくれて、最後の最後までちょこちょこいじってくれて絞り出した感じです。明日は長いレースなのでチャンスはすごくあると思っています。今朝の公式練習でのロング(ラン)でのタイムは結構良かったですから。あとはレース展開がどうなるか分かりませんが、しっかりそしてフレキシブルに行きたいなと思っています」



HYPER WATER®

GR

BRIDGESTONE

TGR-DC

TGR-D

ADVICS

AMU

金星工業

MUJA

トヨタ自動車

山形県

ELHOMES

MOTUL

MS COLLECTION

SANKISUMOKAI

TONE

pepsi

NAKAMURA KOBAYASHI

Kate

OGURA

OHNLING

TMS

DBL

AMS MEGALIFE

VIEWTEC